

平成24年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	国際会議等に必要な経費(分担金・拠出金) (うち国際行政学会分担金)		担当部局庁	行政管理局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度(内閣法制局から予算移管)		担当課室	企画調整課	課長 山下 哲夫		
会計区分	一般会計		施策名	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第9号		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際行政学会(International Institute of Administrative Sciences:IIAS)は、行政学の発展、行政運営の改善等を目的として1930年に設立(本部:ベルギーのブリュッセル。国家会員として35か国をはじめ、OECD等の国際機関、学術団体等が加入。)。我が国においては、1954年(昭和29年)に国家会員として加入。本事業は、同学会へ加入し、諸外国の行政学、行政実務等についての最新動向を把握・分析すること等により、総務省行政管理局が所管する「行政制度一般に関する基本的事項の企画及び立案」に資する有用な情報の蓄積・構築を図るもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際行政学会では、世界各国において第一線で活動する行政学者・実務家が一堂に会して、行政学、行政実務等に関する研究報告や討議を行う場としての国際会議の開催をはじめ、学会機関誌「国際行政評論」(IRAS)の出版など、様々な活動を行っている。総務省においては、国家会員として毎年国際会議に出席するなどして、欧米及びアジア近隣諸国における国家会員である各行政機関をはじめ、行政学者・実務家と交流を深め、これら諸国における改革の動向等について情報収集・交換を行っている。なお、国際会議には、日本人の行政学者も会議に出席し、論文発表や討論に参加している。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	10	9	8	8	7
		繰越し等	0	0	0		
		計	10	9	8	8	7
	執行額	10	9	8			
	執行率(%)	100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、国際会議等の機会を活用して諸外国における改革の最新動向等について情報収集・交換を図るものであり、分担金という性格からも、定量的な成果目標の設定にはなじまないものである。			成果実績			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	上述した事業の内容及び分担金という性格上、定量的な活動指標の設定にはなじまないものである。			活動実績 (当初見込み)	()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国際行政学会分担金	8	7	国際行政学会分担金はユーロで支払っており、当該外貨のレートが変更となったことによる減。			
	計	8	7				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国行政の総合的かつ効率的な運営の推進を図る上で、国際的な動向の把握は不可欠であり、我が国の現状を理解するに当たって国際比較の情報は有用である。国家会員が多く参加する国際会議では、諸外国の政府機関が抱える課題や改革の最新動向について直接情報収集・交換を行うことができ、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	分担金は、国際非営利団体である国際行政学会の運営のために加入国等に対して課されるものであり、国際会議の開催や調査研究活動などその事業目的に即して真に必要な支出が行われている。また、分担金の執行状況については、毎年開催される総会及び管理委員会に当省も出席し、定期的にその内容を確認している。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	世界各国において第一線で活動する行政学者・実務家が一堂に会し、行政学、行政実務等に関する研究報告や討議を行う当該会議に出席することは、諸外国の実情及び最新の動向について幅広く情報収集・交換を図る上で非常に有効である。 また、当該会議において発表される各種の論文・報告等も非常に有用であり、今後とも同会議に継続して出席することにより、これら論文等の更なる収集・活用を図る。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	国際行政学会に引き続き加入することにより、諸外国の行政機関等との人脈構築・交流をより一層進めるとともに、国際会議等の機会を活用して更なる情報収集・交換を図る。また、毎年開催される総会等において、加入国等に対して学会の活動報告及び会計報告が行われるところ、分担金の効率的な支出の是非につき、今後ともその執行状況を注視していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	条約等に基づくものであるため		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0001-1	平成23年行政事業レビュー	0001

※平成23年度実績を記入

総務省
8百万円

行政制度一般に関する基本的事項の企画・立案に資する有用な情報の蓄積・構築



【分担金】

A 国際行政学会事務局
8百万円

行政学の発展、行政運営の改善、行政業務・手法の改善、国際的な行政の発展に資する研究活動等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際行政学会の活動支援	8			
計		8	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	国際行政学会事務局	行政学の発展、行政運営の改善、行政実務・手法の改善、国際的な行政の発展に資する研究活動等	8	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					